

小郡市教育委員会から保護者・地域の皆様へ

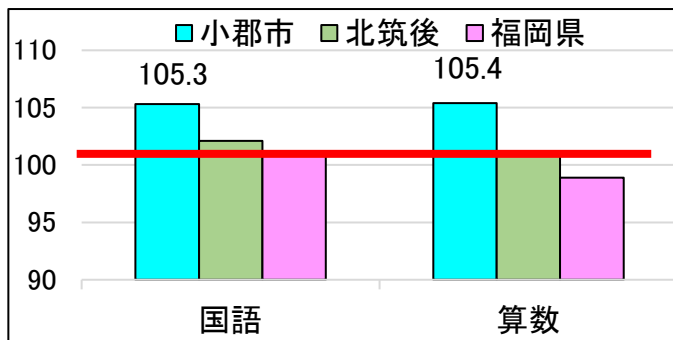
文部科学省は、小学6年生と中学3年生を対象に令和7年度「全国学力・学習状況調査」を4月に実施しました。小郡市全体の学力及び学習状況調査結果の概要と今後の取組についてお知らせします。

※本調査は「生きて働く『知』の学力」の一部を測るものであることを踏まえてご覧ください。

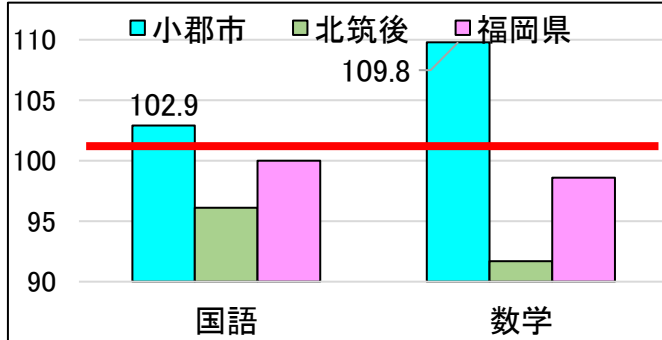
令和7年度全国学力・学習状況調査結果

※縦の目盛りは全国の平均を100(赤の横線)とした時の標準化得点の値で示しています。

【小学6年生】



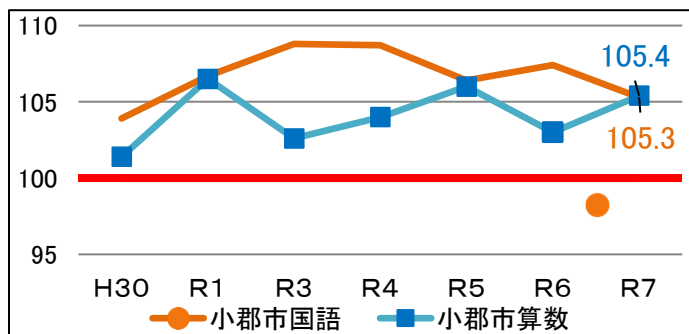
【中学3年生】



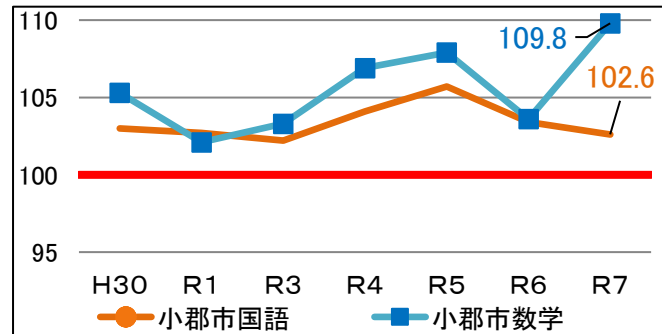
過去7年間の学力の経年変化

※縦の目盛りは全国の平均を100(赤の横線)とした時の標準化得点の値で示しています。

【小学6年生】



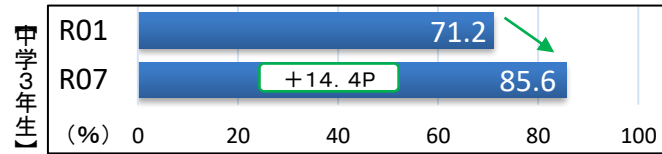
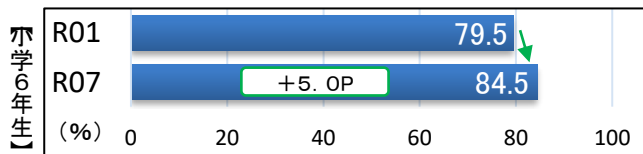
【中学3年生】



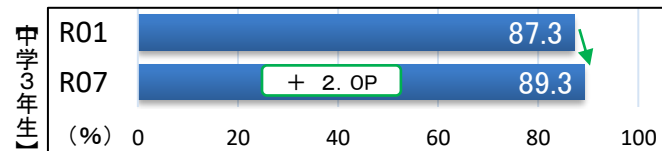
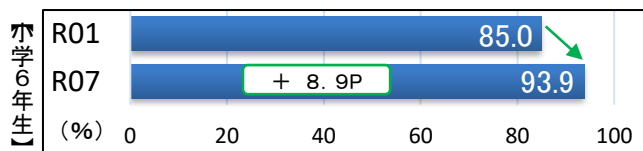
小郡市は、小・中学校ともに、国語・算数(数学)の値は、全国平均を上回っています。平成30年度からの過去7年間の経年変化を見ると、学校の授業改善の取組等により、継続的に全国水準を上回っています。

児童生徒質問から見える「小郡市学校教育推進構想」の観点からの子どもたちの育ち

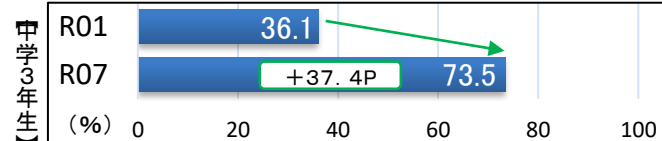
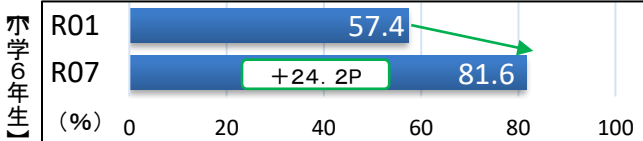
【自律】「自分には、よいところがある」と回答した割合(%)



【共想】「人が困っているときは、助ける」と回答した割合(%)



【郷生】「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した割合(%)



いずれの項目でも、令和元年度からの伸びが見られます。これは、「自律」「共想」「郷生」の3つの目標に向かって各学校で学校教育の重点目標を作成し、地域・保護者と連携した取組を積み重ねた成果です。

子どもの『主体的な学び』に係る学習状況

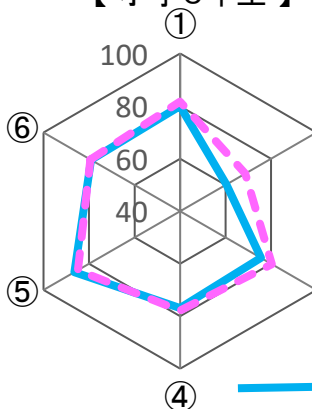
※6つの質問項目は、福岡県教育委員会が「学びを調整する力」として独自に分類しています。

小郡市が施策として掲げている児童生徒の『主体的な学び』に係る以下の6項目について、児童生徒が肯定的な回答をした割合について、小郡市と全国の児童生徒の学習状況を比較しました。

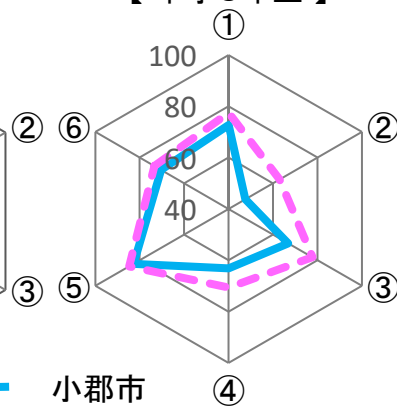
『主体的な学び』に係る6つの質問項目

- ①自分で学び方を考え、工夫することができている。
- ②自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している。
- ③授業では、課題解決に向けて自分で取り組んでいる。
- ④授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- ⑤学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする。
- ⑥学習した内容について、次の学習につなげる。

【小学6年生】



【中学3年生】



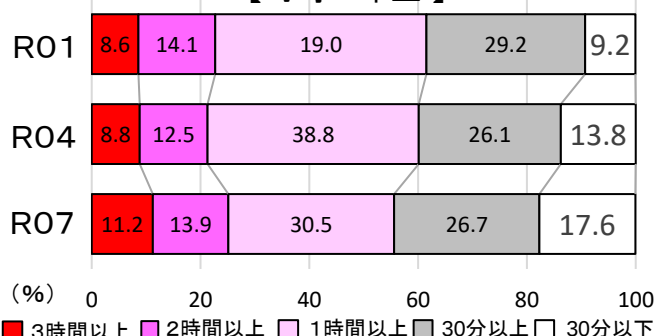
— 小郡市
— 全国

小郡市の児童生徒は⑤(話し合い活動)の中で協働的に学ぶことができています。しかし、その一方で、②(工夫して発表)することや、③(自分から課題解決)することについては、小・中ともに課題が見られます。

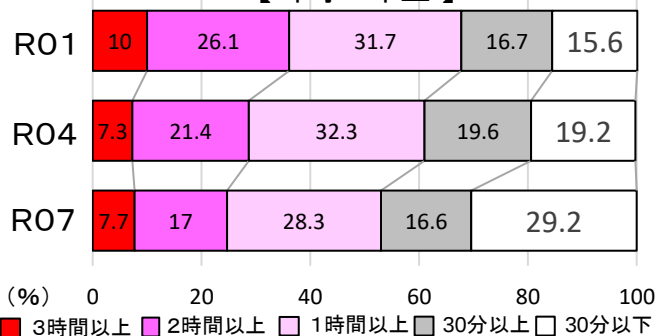
平日の学校以外の勉強時間(学習塾で勉強している時間等を含む)

【質問】学校の授業以外に、普段(平日)1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾等も含む)

【小学6年生】



【中学3年生】



学校以外の勉強時間は、減少傾向にあり、特に30分以下の割合が増加しています。ゲームや携帯電話の使用(動画視聴・SNS等を含む)のルールづくりと家庭学習の時間や内容を自分で調整することが大切です。

小郡市における今後の取組

小郡市では、上記に紹介しました子どもたちのよさ・課題を踏まえ、学校、家庭、地域三者で協働して、子どもたちの「未来に向かい 未来を拓く力」を育てて参ります。

市の取組

☆ICTを効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による主体的な学びをさらに推進します。

☆子ども一人一人が目標に向かい繰り返しチャレンジし、「自分で選び」「自分で決める」自己調整の力を高めます。

ご家庭へのお願い

以下についてご協力をお願いします。

☆携帯電話やSNS等を使用する際は、家庭でルールを決めて、子どもと一緒に使用状況を確認め合う。

☆子どもの話をよく聞いてあげることで子どもの頑張りを見守り、励まし、褒めてあげ、自信をもたせる。

学校の取組

☆支える生徒指導を大切にし、子ども一人一人が、「学校が楽しい」と思える魅力ある学校づくりを進めていきます。

☆子どもが「自分で選び」「自分で決める」ことを重視した日常的な授業改善を各教室に浸透させます。

地域へのお願い

以下についてご協力をお願いします。

☆地域において、子どもたちが貢献・活躍できる場をつくり、子どものよさや頑張りを認め、称賛する声かけをする。

☆学校の学習や活動へのボランティア(ICT支援、丸付け、ふるさとの魅力紹介等)へのご協力。